

研究課題【慢性硬膜下血腫の術後再発予測に関する研究】に関する情報公開

1. 研究の対象

2012年1月1日から2021年3月31日までに日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院・半田市立半田病院において、慢性硬膜下血腫に対して穿頭血腫除去術（穿頭血腫ドレナージ術・穿頭血腫洗浄術・穿頭血腫洗浄ドレナージ術）を実施された方。

2. 研究目的・方法・研究期間

慢性硬膜下血腫は頭部外傷後慢性期（1-2ヶ月）に、頭蓋内で脳を包む硬膜の下に血腫が貯留する病気です。慢性硬膜下血腫に対しては頭蓋骨に小孔を開けて血腫を除去する穿頭血腫除去術が行われますが、15%程度の方に術後血腫が再発して再手術を要することが知られています。本研究では、機械学習・深層学習の技術を用いて頭部CT画像の解析と再発予測因子の解析を行い、どのくらいの可能性で再発が起こりやすいのかを個別に判定するモデルを作成することを目的としています。診療情報から病気の名前や手術の方法・画像検査などの項目を収集し、検討を行います。研究期間は実施承認日より2026年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より原疾患、病歴、術式、手術記録、病理診断、頭部画像などを収集します。本研究で収集した情報については、研究終了後10年間保管いたします。本研究で収集した情報をほかの研究に使用する可能性があります。

4. 外部への試料・情報の提供

拠点施設（名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御学講座脳神経外科学）への情報提供は、エクセルファイルと画像データを保存した記録媒体を研究責任者または研究分担者が持ち運ぶことにより行います。匿名化後の対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究機関：名古屋大学医学系研究科脳神経外科 齋藤 竜太

既存情報の提供のみを行う機関：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 脳神経外科・半田市立半田病院 脳神経外科

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：名古屋大学医学系研究科脳神経外科 齋藤 竜太

電話番号：052-744-2353

住所：愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65 名古屋大学脳神経外科医局

研究代表者：名古屋大学医学系研究科脳神経外科 齋藤 竜太